BAR SW-4P
取扱説明書・入門編

http://www.corega.co.jp/

目　次

はじめに 4
製品概要 5
PC の設定 6
機器の接続 8
本製品の設定 10
クライアント PC の起動 12
接続の確認 12
付録 13

PN J613-M3016-00 Rev.A 010215

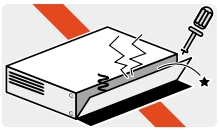
安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

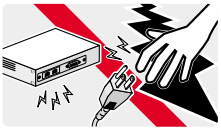
分解や改造をしない

本製品は､取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。



雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

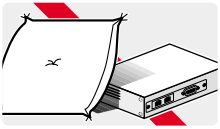


異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となります。

交流１００Ｖの電源でお使いください。

異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

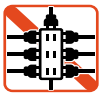
電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

- 加工しない、傷つけない。
- 重いものを載せない。
- 暖房器具に近づけない、加熱しない。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。
部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、
部品などに素手で触れないで下さい。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

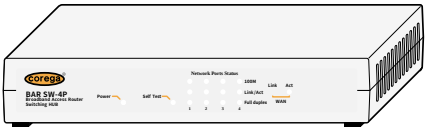
はじめに

この度は、「corega BAR SW-4P」をお買い上げいただ きまして誠にありがとうご ざいます。この取扱 説明書は本製品を 正しくご使用いただくため の手引きです。必要 なときにいつでも ご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

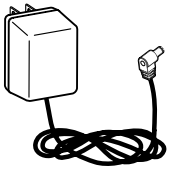
内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている 場合があります）。お買い上げ商品に ついてご確認いただき、万一不 足するものがございましたらお手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡く ださい。

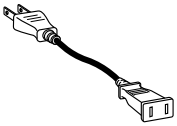
- corega BAR SW-4P 本体



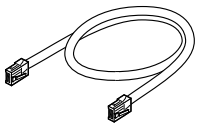
- 専用 AC アダプター



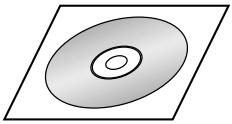
- 延長用電源ケーブル



- UTP ケーブル 1m（1 本）



- ユーティリティー CD（1 枚）

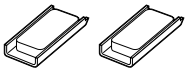


収録内容 TFTP Server プログラム
FirstAid Agent プログラム
Internet Explorer Ver.5.5
Netscape Navigator Ver.6
Acrobat Reader Ver.4.0
取扱説明書・詳細編（PDF形式ファイル）

- 取扱説明書・入門編（本書：製品保証書もかねております）

- シリアル番号シール

- ゴム足（粘着タイプ 4 個：本体取付済み）
- マグネット（2 個）



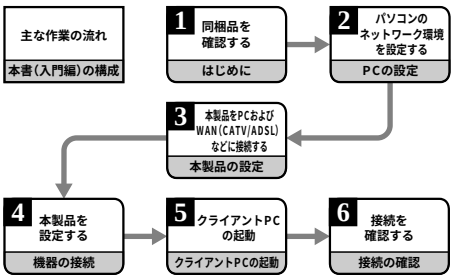
- ウォールマウント用タッピングスクリュー（2 個）

- ウォールマウント用プラスチックアンカー（2 個）

取扱説明書について

本製 品の取 扱説明 書は、入門 編（本書）と詳 細編（付属 のユーティリティー CD 内に PDF 形式ファイルとして収録）の 2 編に分かれて います。

入門編で は、本製品の設置方 法とクイック設定 画面による設定方法について 説明しています。本設定で 動作しない場合、または他の機能を ご使用になる場合 には、詳 細編（ユーティリティー CD 内に収録）を ご覧ください。



・本製品で使用可能な機能については「A.Web ブラウザによる設定可能項目 一覧」13 ページを参照してください。
・ユーティリティー CD の使い方については、「付録 B. ユーティリティー CD の使いかた」13ページを参照してください。

1 製品概要

本製品は、ADSL や CATV で提供される高速インターネットアクセス環境に対応したブロードバンドアクセスルーターです。100BASE-TX/10BASE-T の自動認識ポートを 4 ポート装備したファーストイーサネット･スイッチとしてもご利用いただけます。

- ケーブル／ ADSL に接続し、複数のクライアントより同時に、インターネット接続が可能
- １つの IP アドレスで、253台のクライアントが接続可能
- 4 ポートの 10/100Mbps イーサネット･スイッチング･ハブを内蔵
- インターネットからの不正アクセスを防止するファイアーウォール機能搭載
- パケット・フィルタリング機能搭載
- ブラウザーによる簡単設定
- DHCP サーバー・クライアント機能搭載
- PPPoE に対応

1.1 各部の名称と機能

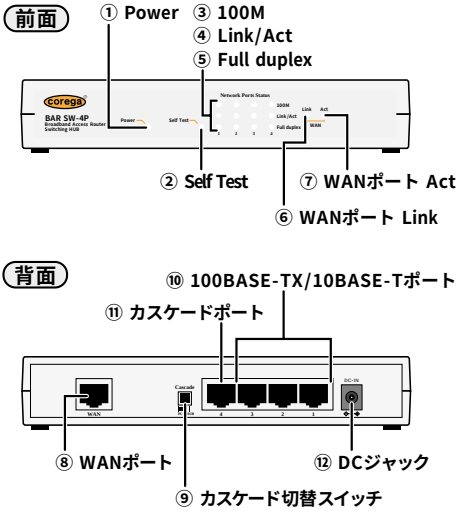


図 1.1-1

① Power（緑）

本体に電源が供給されているときに点灯します。

② Self Test（橙）

システム初期化時のセルフテスト中に点灯します。

③ 100M（緑）

ポートが 100Mbps で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、10Mbps で動作していることを示します。

100Mbps/10Mbps の切り換えは、オートネゴシエーション機能によって、本製品が自動的に行います。ユーザーが設定する必要はありません。

④ Link/Act（緑）

本製品のポートと接続装置とのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。また、パケットの送受信が正常に行われているときに点滅します。

⑤ Full duplex（緑）

ポートが Full duplex で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half duplex で動作していることを示します。

⑥ WAN ポート Link（緑）

本製品の WAN Portと ADSL/CATVモデムとのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。

⑦ WAN ポート Act（緑）

本製品の WAN ポートと LAN ポートとの送受信が正常に行われているときに点滅します。

⑧ WAN ポート

本製品と ADSL/CATV モデムまたは既存のネットワークとを接続するためのポート（RJ-45）です。

⑨カスケード切替スイッチ

ポート 4 をカスケード接続用ポートとして使用するか、通常の 100BASE-TX/10BASE-T ポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。

出荷時設定は「PC」です。

HUB ▬（スイッチが押し込まれている状態）
カスケード接続するときのカスケード接続用ポート（MDI）として使用します。

PC ■（スイッチが飛び出している状態）
通常の 100BASE-TX/10BASE-T ポートとして使用します。

⑩ 100BASE-TX/10BASE-T ポート（ポート番号 1～3）

100BASE-TX、または 10BASE-T の UTP ケーブルを接続するためのコネクターです。

⑪カスケードポート (ポート番号 4)

このポートは、カスケード切替スイッチによって、カスケード接続用として使用するか、通常の 100BASE-TX/10BASE-T ポートとして使用するかを選択することができます。

⑫ DC ジャック

AC アダプターの DC プラグを接続するためのコネクターです。

2 PC の設定

本製品を利用したインターネット接続ができるように、お使いの PC（パソコン）のネットワーク（TCP/IP）設定を行います。ネットワーク設定は接続するすべてのパソコンで行う必要があります。また、あらかじめネットワークカードの設定がされている必要があります。

2.1 Windows 編

Windows 98（95/Me）の設定

(1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」画面を開き、「現在のネットワークコンポーネント」リストの中から、“ TCP/IP ー> （ネットワークカード名）” を選択し、「プロパティ」をクリックします。

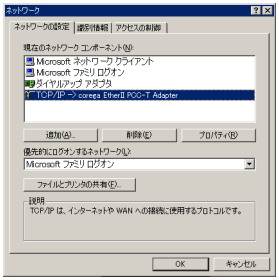


図 2.1-1

(2) 「TCP/IP のプロパティ」画面で「IP アドレス」タブの「IP アドレスを自動的に取得」を選択し、「OK」をクリックします。

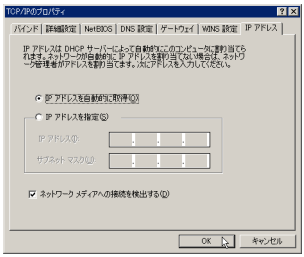


図 2.1-2

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「TCP/IP のプロパティ」画面の「DNS 設定」タブをクリックし、「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順」欄に指定されたドメイン名を入力して「追加」ボタンを押してください。

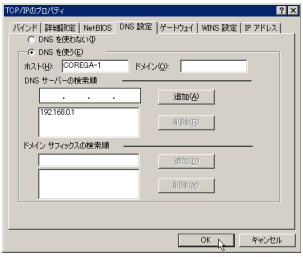


図 2.1-3　DNS 設定例

(3) 「ネットワーク」画面で「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、パソコンを再起動してください。

Windows 2000 の設定

(1) 「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開き、「ローカルエリア接続」をクリックします。

図 2.1-4

(2) 「ローカルエリア接続状態」画面で「プロパティ」をクリックします。

図 2.1-5

(3) 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面のリストの中から“ インターネットプロトコル（TCP/IP）” を選択し、「プロパティ」をクリックします。

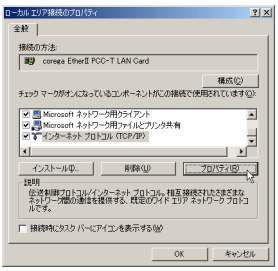


図 2.1-6

(4)「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面で「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」をクリックします。

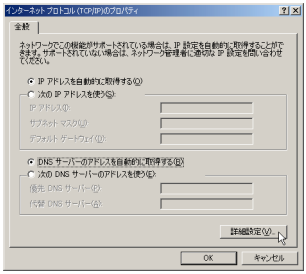


図 2.1-7

(5)「TCP/IP 詳細設定」画面で「DNS」タブを選択し、下部の「この接続アドレスを DNS に登録する」のチェックを外してください。

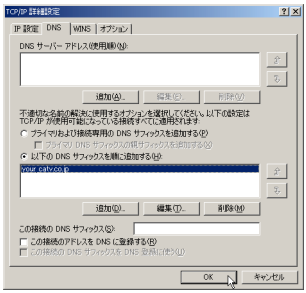


図 2.1-8

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「以下の DNS サフィックスを順に追加する」を選択し、「追加」ボタンを押して指定されたドメイン名を入力してください。

(6)「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、パソコンを再起動してください。

Windows NT Ver.4.0 の設定

(1)「コントロールパネル」の「ネットワーク」を開き、ネットワークプロトコルリストの中から “ TCP/IP プロトコル ”を選択し、「プロパティ」をクリックします。

図 2.1-9

(2)「Microsoft TCP/IP のプロパティ」画面の「IP アドレス」タブで、「アダプタ」欄にお使いのネットワークカードが表示されているのを確認し、「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」を選択して、「OK」をクリックします。

図 2.1-10

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「DNS 設定」タブをクリックし、「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順序」欄に指定されたドメイン名を入力して「追 加」ボタンを押してください。

(3)「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、パソコンを再起動してください。

2.2 Macintosh 編

(1)「コントロールパネル」の「TCP/IP」を開き、「経由先」を“ Ethernet ”、「設定方法」を“ DHCP サーバを参照 ”を選択してください。

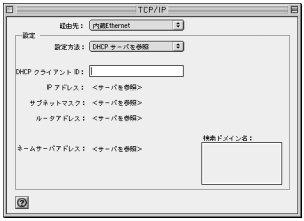


図 2.2-1

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合
「上位ドメイン名」に指定されたドメイン名を入力し追加してください。

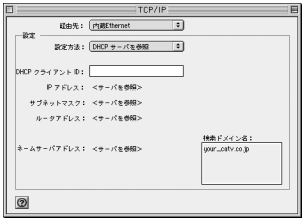


図 2.2-2

(2)「TCP/IP」ウィンドウを閉じて設定を保存してください。

3 機器の接続

3.1 設置する前に

インターネット回線契約

本製品を設置するために必要なインターネット接続アカウント情報は、ご契約されているプロバイダーやサービスによって異なります。以下のような、接続するインターネット回線環境（ADSL/CATV インターネット接続、PPPoE 接続など）の情報をあらかじめ用意しておいてください。

□通常の ADSL/CATV インターネット接続の場合

- IP アドレス

  インターネットサービスには、IP アドレスを自動的に配布する場合と、IP アドレスを固定的に割り当てる場合があります。ご利用のインターネットサービスが、どちらの方式を採用しているか確認してください。IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、その IP アドレスを確認してください。

- サブネットマスク

  IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、サブネットマスクを確認してください。

- デフォルトゲートウェイ（デフォルトルータ）

  IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、デフォルトゲートウェイ（デフォルトルータ）を確認してください。

- DNS サーバアドレス

  IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、DNS サーバの IP アドレスを確認してください。DNS サーバが複数指定されている場合も、それぞれの IP アドレスを確認してください。

- ドメイン名

  ご利用のインターネットサービスによっては、ドメイン名の設定も必要になる場合があります。

□ PPPoE（Point-to-Point Protocol over Ethernet）接続の場合

ご利用のインターネットサービスが、PPPoE 接続方式を採用している場合については PPPoE 接続ソフトなどの説明書をあらかじめご用意ください。

プロバイダーへの申請

ご契約されているプロバイダーやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、CATV/ADSL モデムに直接接続するネットワーク機器（本製品も含むパソコンなど）の MAC アドレスをプロバイダーに対して事前申請してください。

注意

・MAC アドレスの事前申請が必要かどうかは、ご利用のインターネットサービスによって異なります。インターネットサービスプロバイダーに確認してください。

・MACアドレスの事前申請が必要なインターネットサービスの場合、プロバイダーへの申請および登録が完了するまで本製品を利用したインターネットアクセスはできません。

マックアドレスについて

イーサネット（Ethernet）に接続される機器は、MACアドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機器（アダプター）のひとつひとつに割り当てられた唯一無二のユニーク（unique）なアドレスです。

MACアドレスは、下記の6バイト（48ビット）によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。

本製品のMACアドレスは本体底面に記入されています（表記はすべて16進数）。

本製品に貼付されているのはWAN側のMACアドレスです。LAN側のMACアドレスについてはブラウザ設定画面のシステム情報で確認できます。

00　90　99　xx　xx　xx

ベンダーID　通し番号

□ベンダーID

LANベンダー（LAN機器を製造しているメーカー）がIEEEに申請することにより得られる識別番号です。

□通し番号

この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたものです。この通し番号と本製品の「シリアル番号シール」の番号に関連はありません。

設置場所

本書冒頭の「安全のために」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。

電源

必ず付属のACアダプターを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。それ以外のACアダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

なお、ACプラグ部がAC100Vコンセントに接続するほかの機器のじゃまになる場合は、付属の延長用電源ケーブルを接続してお使いください。

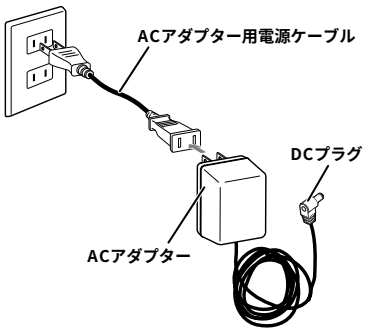


図 3.1-1

起動と停止

ACアダプターのDCプラグを本体背面のDCジャックに接続し、ACプラグを電源コンセントに差し込むと起動します。ACアダプターのACプラグを電源コンセントから抜くと停止します。

注意
・本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
・ACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

3.2 推奨ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。本製品と端末を接続するケーブルの長さは100m以内にしてください。

また、ケーブルは100BASE-TXの場合はカテゴリー5のUTPケーブル（ストレートタイプ）、10BASE-Tの場合はカテゴリー3以上のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

3.3 接続のしかた

本製品、ADSL/CATVモデム、スイッチングハブ、パソコンなどネットワーク接続する機器をネットワークケーブルで接続してください。

注意
本製品、ADSL/CATVモデム、スイッチングハブ、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべてOFFにするか、電源コンセントから抜いてください。

PCへの接続のしかた

(1) 本製品背面の100BASE-TX/10BASE-TポートにUTPケーブルを接続します。

(2) ネットワークに接続するPCに100BASE-TX/10BASE-Tネットワークカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTPケーブルのもう一方をPCのネットワークカードに接続します。

カスケード接続について

カスケードポート（ポート番号4）を使用すると、ケーブルを変更することなく簡単にカスケード接続することができます。

WANへの接続のしかた

(1) 本製品背面のWANポートにUTPケーブルを接続します。

(2) ADSL/CATVモデムのネットワークポート（RJ45）にUTPケーブルのもう一方を接続します。

注意

ADSL/CATV モデムによって使用する UTP ケーブルの種類（ストレート ケーブルまたはクロス ケーブル）が異なります。

あらかじめご契約のプロバイダーにご確認ください。

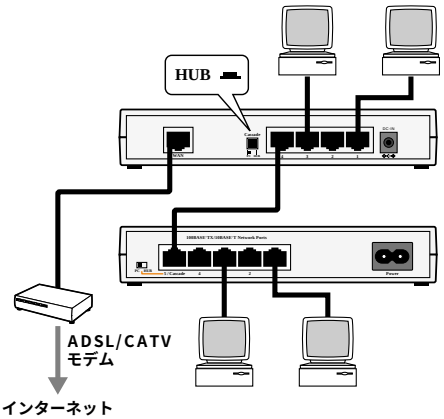


図 3.3-1

4 本製品の設定

WWW ブラウザによるクイック設定画面から、本製品を設定する方法を説明します。

本製品を設定するために必要なインターネット接続アカウント情報は、ご契約されているプロバイダーやサービスによって異なります。設定の前に、接続するインターネット回線環境（ADSL/CATV インターネット接続、PPPoE 接続など）の情報を用意しておいてください。

CATV/ADSL によるインターネット・サービス・プロバイダー（ISP）への接続方法には、大きく分けて次の 3 つがあります。

- WAN 側 IP 自動取得（DHCP）
  DHCP 機能により IP アドレスが自動的に割り当てられます。
- WAN 側 IP 固定
  プロバイダーにより IP アドレスが固定的に決められている場合に設定します。
- PPPoE
  PPPoE 方式を使用している ISP の場合設定します。

(1) 本製品の専用 AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC ジャックに接続し、AC プラグを電源コンセントに差し込みます。

(2) PC を起動します。

このとき本製品から PC に IP アドレスがアサインされます。

(3) WWW ブラウザを起動し、アドレス入力欄に“ 192.168.1.1 ”を入力して「移動」をクリックします。

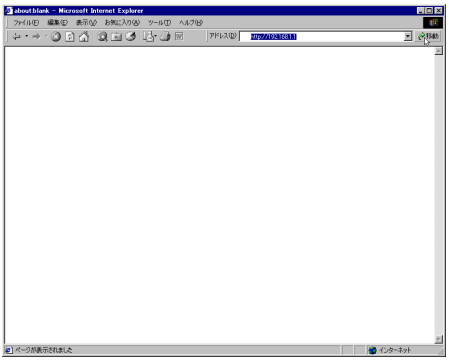


図 4-1

(4) 「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されたら、ユーザー名の欄に「root」と入力を入力し、「OK」をクリックします。

工場出荷時のパスワードは空欄です。

注意

ここで使用するユーザー名“ root ”は、プロバイダーから提供されるものとは異なります。

(5) ブラウザ設定画面が表示されたら、左側のフォルダ「クイック設定」をクリックします。

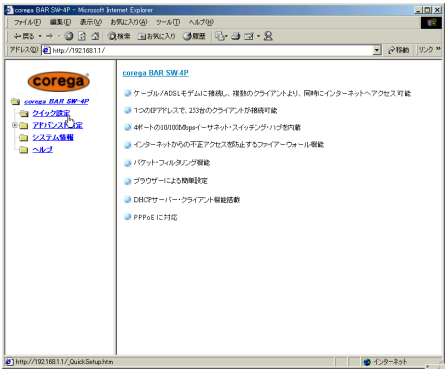


図 4-2

(6) 右側に表示された「WAN 側 IP（自動取得）」、「WAN 側 IP（固定）」、「PPPoE」から ISP とのご契約内容を確認し、該当するものを選択してください。

WAN 側可変 IP の設定項目

図 4-3

- WAN 側 IP アドレス

  自動設定かトリガー設定を選択します。
  工場出荷時は自動設定となっています。

- ドメイン名

  ISP より指定されたドメイン名を入力します。

- コンピュータ名

  ISP より指定されたコンピュータ名を入力します。

- DNS サーバー、DNS サーバー 1、DNS サーバー 2

  通常は自動設定を選択し、DNS サーバー 1、2 は空欄とします。
  ISP から DNS サーバーの IP アドレスを手動設定するよう指示された場合には、マニュアル設定を選択し、DNS サーバー 1、2に IP アドレスを入力してください（ひとつだけの場合は DNS サーバー 1 に入力）。

WAN 側固定 IP の設定項目

図 4-4

- WAN 側IP アドレス

  ISP より指定された IP アドレスを入力します。

- サブネットマスク

  ISP より指定されたサブネットマスクを入力します。

- デフォルト・ゲートウェイ・アドレス

  ISP より指定されたゲートウェイの IP アドレスを入力します。

- DNS サーバー 1、DNS サーバー 2

  ISP より指定された DNS サーバーの IP アドレスを入力（ひとつだけの場合は DNS サーバー 1 に入力）します。

PPPoE の設定項目

図 4-5

- ユーザー名

  ISP より指定されたユーザー名を入力します。

- パスワード

  ISP より指定されたパスワード名を入力します。

- パスワードの確認

  パスワードと同じものを入力します。

- サービス名

  ISP より指定されたサービス名を入力します。

- DNS サーバー、DNS サーバー 1、DNS サーバー 2

  通常は自動設定を選択し、DNS サーバー 1、2は空欄とします。

  ISP から DNS サーバーの IP アドレスを手動設定するよう指示された場合には、マニュアル設定を選択し、DNS サーバー 1、2 に IP アドレスを入力（ひとつだけの場合は DNS サーバー 1 に入力）します。

(1) 情報の入力が終ったら、「設定」ボタンをクリックしてください。

その他の設定項目や画面の詳細については、「A.Web ブラウザによる設定可能項目一覧」13 ページを参照してください。

5 クライアント PC の起動

本製品の設定終了後、本製品に接続しているクライアント PC（カスケード接続している HUB 又はスイッチング HUB に接続している PC を含む）を起動します。

6 接続の確認

ケーブルの接続及び PC の起動の終了後、インターネットに接続して設定を確認してください。

(1) PC の画面で WWW ブラウザを起動し、目的の URL を指定します。

例　http://www.corega.co.jp/　を指定した場合

(2) 目的のホームページが表示されたら完了です。

図 6-1

付録

A　Web ブラウザによる設定可能項目一覧

本製品のファームウェア設定項目は、「クイック設定」と「アドバンスド設定」（「システム情報」「ヘルプ」）に分かれています。

設定項目の概要は以下のとおりです。

表 1:

メニュー			機能概要
クイック設定	WAN側 IP（自動取得）		IP 設定が自動取得（DHCP）の場合に選択　　（出荷時設定）
	WAN側 IP（固定）		IP 設定を固定にする場合に選択
	PPPoE		PPPoE で接続する場合に選択
	ローカル・オフィス		オフィスで簡易ルータとして使用する場合に選択
アドバンスド設定	システム設定	ファームウェア更新	管理者のログイン名、パスワード設定／ファームウェアの更新
	LAN側の設定		LAN 側の IP アドレス、サブネットマスクを設定
	WAN側の設定	IP 自動取得（DHCP）	IP 設定が自動取得（DHCP）の場合に選択
		IP 固定	IP 固定とする場合に選択
		PPPoE	PPPoE で接続する場合に選択
		ローカル・オフィス	オフィスで簡易ルータとして使用する場合に選択
	DMZ 設定		指定した PC を WAN側から参照可能とする
	バーチャル・サーバー		LAN 側に接続されているコンピュータをインターネット上から参照する
	パケット・フィルタリング	IP ルール	IP アドレス指定による簡易ファイアーウォールの設定
		Port ルール	Port 指定による簡易ファイアーウォールの設定
	DHCP 設定	固定 IP テーブル	本製品に接続するローカル LAN の設定
		除外する IP テーブル	本製品に接続するローカル LAN の設定
		BOOTP IP テーブル	本製品に接続するローカル LAN の設定
	スタティック・ルーティング		内部ルーティングテーブルにスタティックルーティング情報を追加
システム情報			本製品のシステム情報を表示
ヘルプ			各設定項目ごとに説明を表示

B　ユーティリティー CD の使いかた

以下の場合は、ユーティリティー CD を使って対応するメニューを選択し、次の手順に従って必要なデータをインストールしてください。

表 2:

目的	選択するメニュー	インストールされるソフトウェア
ファームウェアをアップデート（最新のものに更新）したい	ユーティリティ・プログラム	「取扱説明書・詳細編（PDF 形式ファイル）」「TFTP Server」「FirstAid Agent」
本製品の取扱説明書 詳細編 を読みたい	「Install Acrobat Reader」＋ユーティリティ・プログラム	「Acrobat Reader Ver.4.0」＋「取扱説明書・詳細編（PDF 形式ファイル）」「TFTP Server」「FirstAid Agent」
ファームウェア設定画面を表示する WWW ブラウザがない	「Internet Explorer」または「Netscape Navigator」	「Internet Explorer Ver.5.5」または「Netscape Navigator Ver.6

(1) ユーティリティー CD を CD-ROM ドライブにセットしてください。

ユーティリティー CD のメイン画面が自動起動します。

図 B-1

(2) 目的のメニューをクリックします。

画面の指示に従って、インストールを完了してください。

C　取扱説明書 詳細編（PDF ファイル）の開きかた

「取扱説明書 詳細編（PDF ファイル）」はユーティリティー CD より PC にインストールしてください。

なお、PDF ファイル形式の詳細編を読んだり、印刷したりするには「Acrobat Reader」が必要です。「Acrobat Reader」がイン

ストールされていない場合は、ユーティリティー CD よりインストールしてお使いください。

D　製品仕様

ネットワークインターフェース

- WAN 側ポート：1
  サポート規格 :IEEE802.3 10BaseT、RFC 791(IP)、RFC 793(TCP)、RFC 768(UDP)、RFC 792(ICMP)、RFC 783(TFTP)、RFC 1945(HTTP)、RFC 1541(DHCP)、RFC 1661(PPP)、RFC 2516(PPPoE)
- LAN 側ポート：4
  サポート規格：IEEE 802.3/IEEE 802.3u/IEEE 802.3x

スイッチング方式

ストア＆フォワード

電源部

- 定格入力電圧：AC100-120V
- 入力電圧範囲：AC90-132V
- 定格周波数　：50/60Hz
- 最大入力電流：0.1A
- 平均消費電力：4.2W（最大 4.8W）
- 平均発熱量　：3.6kcal/h（最大 4.1kcal/h）

環境条件

- 保管時温度：-20 ～ 60 ℃
- 保管時湿度：95% 以下（ただし、結露なきこと）
- 動作時温度：0 ～40 ℃
- 動作時湿度：80% 以下（ただし、結露なきこと）
- 外形寸法：177(W) × 103(D)× 32(H)
  （単位㎜、突起物含まず）
- 重量：270g（AC アダプター含まず）

アドレスエントリー数

1,000 個

アドレス保持時間

300 秒

パケットメモリ容量

128kbyte

適用規格

EMI 規格　：VCCI クラス B

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

工場出荷時の設定内容

本製品の工場出荷時の設定内容は以下のとおりです。

表 3: 工場出荷時設定

設定内容		初期設定	
クイック設定	WAN 側 IP（自動取得）	IP アドレス	自動設定
		DNS サーバー	自動設定
アドバンスド設定	システム設定	管理者ログイン名	root
		管理者ログイン・パスワード	なし
	LAN 側の設定	LAN 側 IP アドレス	192.168.1.1
		サブネットマスク	255.255.255.0
	WAN 側の設定 IP 自動取得（DHCP）	IP アドレス	自動設定
		DNS サーバ	自動設定
	WAN 側の設定 PPPoE	無通信時間監視	10 分
		DNS サーバー	自動設定
	DHCP 設定	DHCP	有効
		DHCP 割当開始アドレス	192.168.1.11
		DHCP 割当終了アドレス	192.168.1.254

E　保証と修理について

□保証について

本書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

□修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター

宛てに製品 (付属品一式を含む) を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。
- 修理期間は、製品到着後、約10日程度（弊社営業日数）を予定しております。

□ **製品送付先**

〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-19-20
（株）コレガ corega サポートセンター宛

F ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」16ページをコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書の記入について」をご覧ください。

Tel:045-476-6268　10:00-12:00、13:00-17:00
月～金（祝・祭日を除く）

Fax:045-476-6294　年中無休 24 時間
※番号はお間違いのないよう、よくお確かめの上ダイヤルしてください。また、電子メールでのユーザーサポートの受付および対応は、実施しておりません。上記のいずれかの方法でお問い合せください。

調査依頼書の記入について

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

□**ハードウエアとソフトウエア**

本アダプター上に貼られたラベルに記入されているシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) を調査依頼書に記入してください。

（例）

ご使用になっているソフトウエアの種類／バージョン（Ver.）を記入してください。これらは、ドライバーディスクのラベル上に記入されています。

他社のインターフェースボードやユーティリティーをご使用の場合は全てご記入ください。

接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

□**お問い合わせ内容について**

どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。

エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容をプリントアウトしたものなどを添付してください。

障害などが発生する場合には、本アダプターと併用されているユーティリティーや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

□**ネットワーク構成について**

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

最新ファームウェアの入手方法

弊社は、改良のために予告なく、本製品のファームウェアのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のファームウェアは、弊社のホームページから入手することができます。

Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザーを使用して、次のアドレスにアクセスしてください。

http://www.corega.co.jp/

「ダウンロード」→「各種ドライバ」をクリックしてください。

ご希望のドライバーをクリックしてください。

corega Net-News のご案内

「corega Net-News」は、株式会社コレガがお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客様は、corega ホームページでご登録ください。なお、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2001 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2001 年 2 月　Rev.A　初版

調査依頼書（corega BAR SW-4P）

年　月　日

一般事項

1. 会社名（個人名）：

部署名：　　フリガナ：ご担当者：

ご連絡先住所：〒

TEL：(　　)　　FAX：(　　)

2. 購入先：　　購入年月日：

購入先担当者：　　購入先 TEL：(　　)

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

製品名：**corega BAR SW-4P**

S/N＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ Rev＿＿

2. ご契約のインターネットサービスプロバイダー（ISP）名またはケーブルテレビ（CATV）名

3. お問い合わせ内容　　□別紙あり　　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　　□設置後運用中に起こっている障害

4. ネットワーク構成図　　□別紙あり　　□別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

メモ

メモ

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。

・ハードウェア本体：製品保証書に記載の“保証期間”で無償保証とします。
（ただし、本規定の他の条項に準じます。）

・電源アダプター / 電源ケーブル：1 年保証

・本体付属品（ユーティリティー CD、UTP ケーブルなど）：3ヶ月保証

■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）

1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の装置が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書（１年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製品名　corega BAR SW-4P

シリアル番号
（S/N）

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先

corega サポートセンター
TEL：045-476-6268　FAX：045-476-6294
住所：〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20
受け付け時間：10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00
月～金（祝・祭日を除く）

販売店様印

※本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。

※製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。